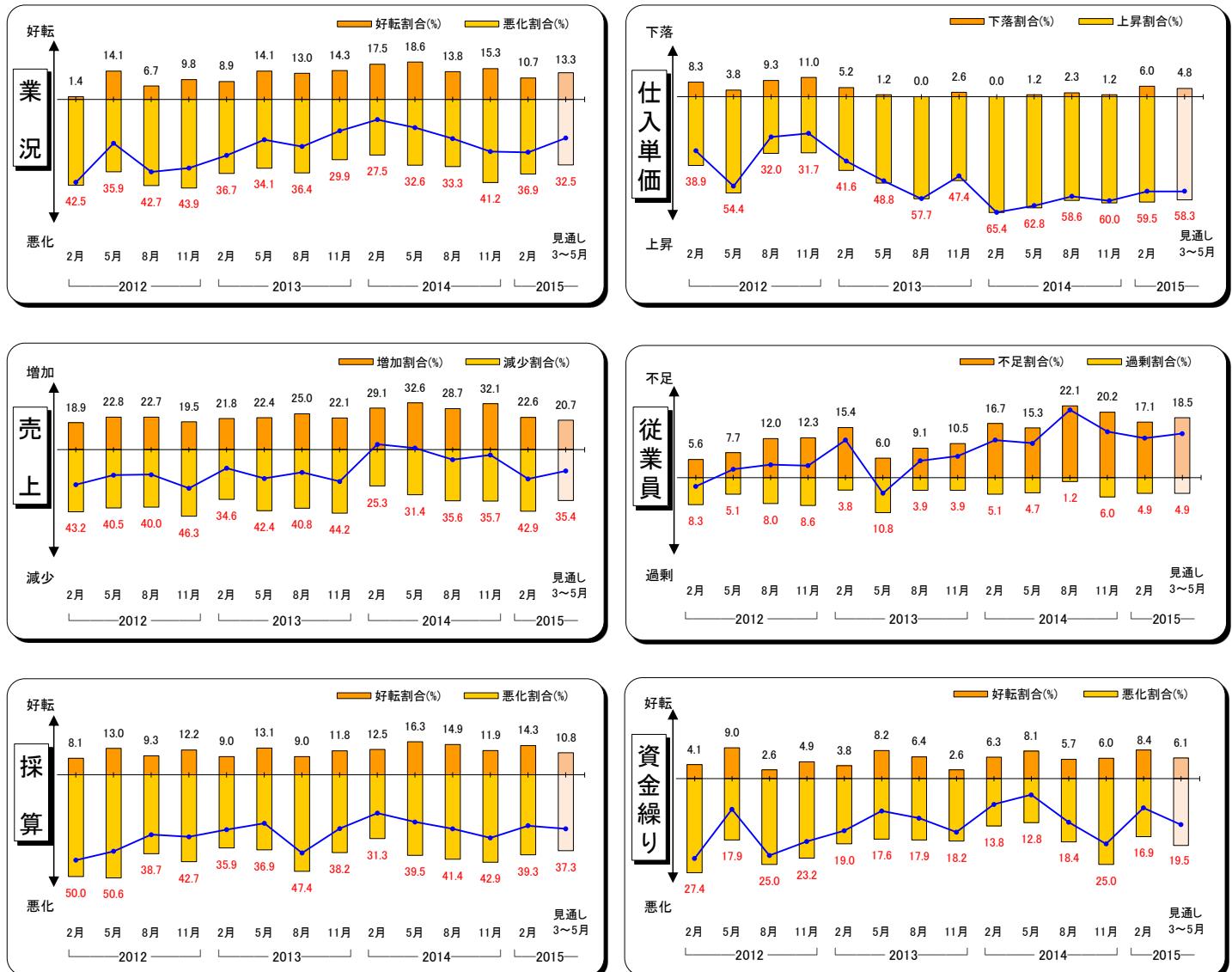


# 【卸売業】①



## 【卸売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

食料・飲料卸売業	円安ではありますが、食品業界は海外でも競争が激しく、先行きの見通しは明るくありません。
食料・飲料卸売業	昨年秋以降、深刻なパート不足となっており、募集しても集まらない。給与のベースアップにより人件費が増加して採算悪化。さらに肉や魚などの原料コストが軒並み上昇している。
食料・飲料卸売業	円安による価格上昇が止まらない。末端の小売店は、値上げをするタイミングの判断が難しく、苦労している。
建築材料卸売業	今後、業績のますますの悪化が避けられず、経営の厳しい舵取りが要求される日々が続くと思われます。ただ、弊社は無借金ですのでまだ良いですが、借入に依存している企業は事業継続が困難なのではないでしょうか？
建築材料卸売業	業界の経験・知識を持った人材が不足しています。募集をかけても応募がなかなかありません。
石油卸売業	原油価格の下落に伴い仕入価格も値下がりしているが、販売価格はそれ以上に値下がりし、採算も悪化している。
鉄鋼製品卸売業	中国の過剰生産に依る安売りが影響し、マーケットの悪化及び国内メーカーからの発注量の減少に伴い、先行き輸出の見通しが厳しい模様です。
非鉄金属スクラップ卸売業	原油価格の下落、中国経済減速と連動して原材料価格は下落しています。通常、冬は発生減少期の為、価格は上昇しますが、今年は全く上がらず、逆に下げとなっています。それでも1年前に比較するとまだまだ高値です。昨年は4月以降から上げ相場でしたが、本年は乱高下の激しい展開になりそうです。
建設機械・鉱山機械卸売業	優秀な人材の確保が難しくなっている。一方、5月以降は売上が改善するものと思われる。
事務用機械器具卸売業	新入社員の確保が課題です。特に取引先の中小企業は人員確保に悩んでおられる模様です。
産業機械器具卸売業	今後も円安方向は間違いないと思いますが、取引業者からの値下げ要求は更に増え、弊社のような小さな輸入業者にとっては今後も厳しい状況となると思います。一方、取引先によっては景気が良くなり、大きい設備投資に伴い注文が入る可能性もあり、期待しています。
産業機械器具卸売業	輸入品の価格が少し上がってきた。運送会社も運賃を上げた。先行き商売がやりにくくなると思う。
産業機械器具卸売業	昨年4月の消費税増税以降は景気がいまひとつ良くないと思います。一部大手企業が円安などで利益を上げ、賃金を引き上げる動きがありますが、私どもにはまだまだ遠い感じがします。
産業機械器具卸売業	円安の為、仕入メーカーの多くが価格値上げの予定。すべての客先に値上げを反映できるか否か、今のところ未定。
産業機械器具卸売業	塩ビ製雨桶の値上げ通達がメーカーから来ているが、円安より原油価格の下落の度合の方が大きく、工事店への説明及び説得が難しく、苦労している。
理化学機械器具等卸売業	「円安」と「中国とインドでの激しい環境規制の影響」で仕入価格の上昇が止まりません。原料を使用して加工する会社は値上げを認めざるを得ないのですが、その加工品の値上げを大手自動車メーカーを始めとする最終ユーザーが認めていません。その影響で、日本の強みであった優れた技術を持つ「中小サプライチェーン」全体が、今後崩れてしまうことを心配しています。最後に、日中、日韓関係の改善を切に願っています。
紙卸売業	仕入価格が上昇しているものの、販売価格を上げることが難しく、利益が取れない状況にあります。